

と き:11月25日(水)19:00~20:25 会場:神林農村環境改善センター 参加人数:36人

開催 神林	NO	発言内容	答弁内容
神林	1	<p>・奨学金制度について。大変ありがたい制度だと思っているが、大学生が就職先を選ぶとき、地方から都会へ流れる傾向にある。そこで、奨学金の貸与を受けた者が地元で就職した場合は、返済期間を延ばす、返済額を減額するという措置をとってはいかがか。</p> <p>・市町村合併後の支所の機能、役割について。当初サービス低下はないとのことだったが、実際要望をあげたときも、権限がないなどの理由で実現しない場合があった。支所に与える権限を大きくすれば、要望に対しての答えもすぐ返ってくるし、要望内容が実現できるものと思うがどうか。</p>	<p>・奨学金について。提案いただいた件は、いい視点だと思うし、そのような件については何度か検討してきている。県の制度で医師を志す方への奨学金も条件付きで貸与しており、効果が見られるとのことなので、こういった考え方をベースに検討していく。保証人についても現行は市内在住者に限定されているが、使いにくいとのことなので、使いやすい制度を作っていく。</p> <p>・支所の機能は基本的に本庁と同じと考える。行政内部の仕組みの問題もあるものと思うが、住民にとって不便なことがないように進めたい。支所で緊急時に使える予算も持っているが、使いにくい部分があるとのこと。要望に応える仕組みを作り、改善を図っていく。</p>
神林	2	<p>・道路舗装について。集落内に平成14年から舗装要望を出している路線があるが、特に返事もなく、実施もされていない。降雪があると、交通に支障が出て、通行ができなくなる場合もある。未舗装のため、除雪も困難な状態。一刻も早く舗装をお願いしたい。</p>	<p>・村上市の道路延長は非常に長く、各所から要望を受けていて、実現していない箇所がある状態。一度にすべてが解消するわけではないが、優先順位、緊急性を見極めて、実現につなげたい。長い期間要望されている箇所なので、状況を確認する。</p> <p>・財源を有効に活用する中で、実施につなげたいし、時間をかけて少しずつ舗装延長を延ばすなどいろいろな方法を検討したい。</p> <p>・集落からの道路、河川に関する要望は毎年多数あがっている。その中で通学路など緊急性の高いものを優先して着手している。ご要望の路線は、順位付けの関係で後送りになっている。</p>
神林	3	<p>・海岸浸食問題について。現在工事中であるが、効果的な浸食防止にはなっていないと感じる。根本的に方法を見直してやらないと、砂浜は復活しないのではないか。お幕場と海岸、これらの観光資源があれば、外部から人が来て発展につながると思っている。展望をお聞かせいただきたい。</p> <p>・洋上風力発電について。いいことばかり聞こえてくるが、デメリットが聞こえてこない。建設後では遅い。事前に説明をお願いする。</p> <p>・洋上風力発電については同意見。不明点が多く、経済効果が大きいのと言われているが、具体性が感じられない。負の遺産として残るのではないかと危惧している。詳しい説明をお願いする。</p>	<p>・海岸浸食については、砂が徐々に付き始めているとの報告を受けている。国でも検証しながら工事を進めている。予算獲得が難しい面もあるとのことだが、市から要望を続けている。国でも理解をいただいており、引き続き取り組みを進めていく。高速道路と周辺道路の整備により、各観光資源を優良な道路でつなげていく。この点は、計画に反映していきたい。</p> <p>・デメリットがないから、聞こえてこないものと認識している。市のスタンスは、悪影響があるものは作らないというもの。12月から海岸地区の住民向けの説明会を予定しているので、ぜひご意見をお聞かせいただきたい。景観が変わることに対する不安の声と歓迎の声が聞こえている。環境への影響については、調査を実施する。市民の皆さま、特に一番影響を受ける海岸沿いの住民の方々、瀬波温泉、観光協会、漁協との話し合いを行っていく。今のところ、歓迎の声をいただいており、市民の声をまとめて実施につなげたい。</p> <p>・経済効果については、メンテナンス会社の市内進出などで新たな雇用が生まれることに期待している。国内で初めての大規模な建設地となることで先進地となり、技術力や情報発信力でもトップランナーになることができる。</p>
神林	4	<p>・村上総合病院の建設について。県内他病院の建設が進んでいるが、当地は遅れていると感じる。住民意識の高揚も大切で、期成同盟会を立ち上げて厚生連に呼びかけた方がよいという声もある。市では20億円の財政支援を行うとのことだが、市が所有する別な土地に建設するなら、用地取得のための資金がいらなくなり、建設に集中して資金を回すことができる。市長の考えをお聞かせいただきたい。</p> <p>・合併前、公民館主催の村政座談会を開催して、今回と同じように村当局との意見交換を行っていた。座談会終了後の懇親会には、村長にも出席してもらっていたが、今でもそのようなことは可能か。</p>	<p>・建設予定地の駅西側というのは、厚生連の運営審議会での決定事項である。先日理事長と面会したときに、何としても建設しようということでお互いに確認している。その際厚生連からもいくつかの要請をいただいており、市としてそれらに応えていく。建設に向けた作業は進んでおり、然るべき機会の説明させていただく。一刻も早く建設したいというのは、行政も同じ考えである。20億円の財政支援についても、将来的な財政計画の中で決定していることなので、それらも踏まえ進めていきたい。</p> <p>・集落から個別に要請をいただいて懇談会に出席することもあり、その後の懇親会にも出席している。日程が合えば参加します。</p>

開催	NO	発言内容	答弁内容
神林	5	<p>・小学校の統廃合について。統合がいいということばかりでなく、小規模校でもいいところはたくさんある。手作りの教育は貴重であり、大規模校ばかりに偏らないで考えていただきたい。</p> <p>・空き家対策について。空き家を所有していると維持管理に困るし、その集落の人にも迷惑がかかる。対策について、いい知恵はないものか。</p>	<p>・小学校及び保育園の統廃合については、大規模校を作ろうということではなく、混合保育や複式学級の解消を図るということ。1学級を形成できずに複式となると、弊害が考えられるため。小規模校のきめ細かな教育体制によって学力向上も図られると思っている。子どもたちが伸びる可能性を閉ざすやり方は行わない。</p> <p>・空き家対策について。家屋は個人財産であり、行政が介入できないことのジレンマを感じている。周辺住民の発案で解決した例もあり、民間、地域の力が大切だと思っている。市では空き家バンクの登録制度があるので、活用してもらいたい。空き家対策については、引き続き検討を進めたい。</p>
神林	6	<p>・商工会の方々が市長と面会して要望活動を行った記事を拝見した。高齢化に伴い会員が減少し、活発な事業展開ができなくなっており、助成金の増額を要望されていた。既存組織は高齢化等により疲弊しており、文化協会も同じ。収益をあげるような団体ではないが、助成金も減っており、主催事業の運営も苦労している。一律の助成ではなく、実態に合った助成をお願いしたい。</p> <p>・保育料の軽減について。第3子無料との説明だったが、第3子では効果が薄いと思う。第2子から無料とする考えはないか。</p>	<p>・高齢化については、人口動態を見ると2025年までは進んでいく。人口減少も進み、人口動態が変化する中で、これまでの文化、伝統を継承していくためには知恵を絞らなければならない。お金を出すだけでは組織は成り立たないと思っている。施設を有効活用し、公共交通など公の仕組みも活用することが大切になってくる。高齢化への対応については、元気な高齢者も増えているので、健康寿命を延ばしていくことが大切と思っている。限られた予算で行政運営している中、予算の投入ばかりでなく、知恵を出し、お互いに最良の道を探る。</p> <p>・保育料の軽減について、第2子から無料にすると市の財力がもたない。他市町村の第3子無料の例では、きょうだいの年齢に制限をかけているものもあるが、市の案は制限なく第3子であれば無料としたい。幼稚園に入園する児童も対象とする。効果は期待できている。</p>
神林	7	<p>・人口減少に歯止めはかかるのか。市の検討状況や具体的対策についてお聞きする。</p> <p>・運転免許証の返納について。市では温泉の割引券を発行しているようだが、タクシー等の割引券発行は考えているか。交通弱者への対策にもつながると思うが。</p>	<p>・総合戦略の具体的な中身のひとつとして、企業支援を行い、雇用のボリュームを確保しようというものがある。勤め先がないという声があるが、実は求人は意外と多い。ただ、若者のニーズとマッチングしていない。魅力ある職業ということを発信していきたい。</p> <p>交流人口は増加傾向にあり、町屋めぐりの来客を中心に、通年で観光客は増えている。北陸新幹線が開通したことで、上越方面で下車した客が村上にも訪れている。これらを踏まえ、定住につながればと考えている。そのための子育てしやすい環境整備、公共交通の充実など、公の仕組みづくりをしっかりと行っていく。</p> <p>・免許証の返納について。高齢により免許証を返納することで不便になると思うが、それよりも命が大切。支える仕組みづくり、特に公共交通の充実を図っていく。</p>
神林	8	<p>・民生委員の研修として、年1回県外に研修に出かけている。以前は村のバスで行ってきたが、今は貸し出しができないとのことでバス会社に頼んでおり、お金もかかる。民生委員の研修であるのに、市のバスは借りられないのか。</p>	<p>・その研修は、民生委員協議会の自主事業であると考えられ、この場合市がバスを貸し出すと法に抵触する。合併後、そのような運用について整理させてもらっている。行政として誤ったことはできないので、ご理解いただきたい。</p>